

地方創生インターンシップ推進に向けた取組のヒント集(第2版)【概要版】

地方創生インターンシップの推進にあたって、インターンシップ推進主体がどのようにすれば効果的なインターンシップを実施できるかということについて、実際の事例等も踏まえて、インターンシップ実施フローごとにとりまとめ。

ヒント集(本編)のコンテンツ

ヒント集作成の背景と目的や、地方創生インターンシップの現状、取組を進める上でのヒントとなるものや、先行的な取組事例、その他、地方公共団体が学生へのアンケート結果等を掲載。

1.はじめに	1.本ヒント集作成の背景と目的 2.地方創生インターンシップとは 3.地域でインターンシップを実施することの意義	
2.導入編	1.地方創生インターンシップの現状 2.本ヒント集の想定読者と構成 3.よくある課題と実施にあたってのポイント	
3.実践編	0.目的・役割分担の決定	1.目的の設定・共有 2.役割分担の明確化
	I.受入先の開拓	1.受入先の探索 2.受入先へのアプローチ
	II.プログラム設計	1.受入プログラムの検討 2.学生への広報・募集 3.企業と学生のマッチング 4.受入手続き
	III.プログラム運営	1.学生への事前研修 2.インターンシップの実施 3.事後研修・評価
	IV.継続的な事業運営のための体制	1.異なる主体との連携 2.業務の構築・継承 3.財源の確保
	実践編のフロー(0～Ⅳ)に沿ったモデル事例紹介	
4.事例編		

ヒント集(本編)の使い方

- ヒント集(本編)では、「実践編」に示すテーマ毎に、見開きで理解できるように構成。
- 左側には、「よくある課題」として、自治体等が地方創生インターンシップを進める上で悩みがちな点と、解決へのポイントを記載。
- 右側には、具体的な説明や事例を記載。

目的・役割分担の決定 → 受入先の開拓 → プログラム設計 → プログラム運営 → 継続的な事業運営のための体制

観点Ⅰ 受入先の開拓

この観念のポイント

【観点Ⅰ-1:受入先の探索】

- ・地域内において、インターンシップ受入可能な企業を探索します

【観点Ⅰ-2:受入先へのアプローチ】

- ・探索した企業とコンタクトを取り、受入について承認をもらいます

観点Ⅰ-1：受入先の探索

よくある課題

企業にとって「どんないいことがあるのか」が伝わらない
→ポイント①

企業は、何を依頼されるのか分らず警戒してしまう
→ポイント②

学生が関心を持っている企業を受入先に追加したい
→ポイント③

実施にあたってのポイント

ポイント① 受入側にとってのメリットを提示(→p.27)

⇒ 受入によるメリットの理解が、取組参加への第一歩

ポイント② 受入企業要件や支援内容を設定(→p.28)

⇒ 何が求められているかを理解できれば受入企業も安心

ポイント③ 学生ニーズに基づき受入企業を探索(→p.29)

⇒ 「学生の思い」が企業の受入意欲を刺激

目的・役割分担の決定 → 受入先の開拓 → プログラム設計 → プログラム運営 → 継続的な事業運営のための体制

ポイント① 受入側にとってのメリットを提示

受入先企業の実感したメリットを示すことや、受入によって期待される幅広い効果を示すことが、参加企業の理解醸成につながります。

事例 静岡県インターンシップ導入の手引き(抜粋)

インターンシップを実施する中小企業の**メリットベスト5**

ベスト1 70%

指導をした若手を中心に、社員の成長を実感します。

採用につながっています。インターンシップに参加して、入社した学生がいます。

ベスト3 60%

ミスマッチが少なくなり、採用率が高まりました。弊社の求める条件に近い学生さんに応募してもらっています。

ベスト2 60%

そんなにメリットがあるのか!

ベスト3 60%

インターンシップの準備をする中で「自社の良さ」、「仕事の意義」、「日常業務の手順」などを見直す機会になります。

ベスト5 80%

フレッシュな学生の意見や視点にハッとさせられます。

出所)「始めようインターンシップ インターンシップ導入の手引き(静岡県)」より抜粋
(<http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/ok-130/documents/Internship.pdf>)

事例 大学コンソーシアム大阪 期待できる効果(抜粋)

メリット1:人材育成と社会貢献の両面で効果的です

メリット2:社内の活性化につながります

メリット3:新たな視点や感性に触れることができます

メリット4:大学との連携強化が期待できます

メリット5:業界のPRや魅力発信に有効です

出所)「大学コンソーシアム大阪」webサイトより抜粋
(<http://www.consortium-osaka.gr.jp/general/inter/>)

参考：企業へのPR資料

地方創生インターンシップポータルサイトでは、企業へインターンシップのメリットや効果を周知するためのリーフレットを公開しています。ぜひご利用ください。
<https://www.chisou.go.jp/sousei/internship/index.html>

「よくある課題」と「実施にあたってのポイント」の主なもの(概要)				
プロセス		よくある課題	実施にあたってのポイント	
0 目的・ 役割分担 の決定	0-1 目的の設定・共有	企業や担当者によって「インターンシップ」のイメージが様々であり、地域内でイメージが共有できていない	インターンシップの目的を明確化	目的を明確にし、インターンシップを実施することが重要
	0-2 役割分担の明確化	インターンシップに取り組みたいが、人手不足で取り組むことができない	コーディネーターの発掘・有効活用	ニーズを調整しながら、フォロー等を行うことが出来るコーディネーターが必要
I 受入先の 開拓	I-1 受入先の探索	企業にとって「どんないいことがあるのか」が伝わらない	受入側にとってのメリットを提示	受入によるメリットの理解が、取組参加への第一歩
	I-2 受入先へのアプローチ	企業の負荷感が強く受入に至らない	受入企業の負担感を軽減	「いつ・なにをする」「どんな支援がある」のか全体の見通しを示して安心感を醸成
II プログラム 設計	II-1 受入プログラムの検討	学生に何をさせれば良いか困っている企業が多い…	企業向けセミナーの実施	企業がプログラムを検討する際のヒントを提供
		プログラムを効果の高いものにしたい	目的の明確化	企業がどのようなインターンシップを実施すべきかを明確化
	II-2 学生への広報・募集	どんな情報を発信すればいいんだ…	プログラムを具体的に提示	情報の受け手となる学生は効率よく判断することが可能
	II-3 企業と学生のマッチング	マッチングのやり方がわからない…	複数の方法から選択	様々な手法の中からメリット・デメリットを勘案して実施方法を選択
II-4 受入手続き	どんな書類が必要だろうか	必要な書面のひな型を用意	インターンシップ参加条件等の事前のすり合わせや、事務手続きの省力化	
	学生に何を準備させれば良いのだろう	学生への注意事項の伝達	企業と学生が事前に接触することでお互いの安心感を醸成	
III プログラム 運営	III-1 学生への事前研修	学生の意識やモチベーションに差が生じているらしい	目的意識の啓発	インターンシップを通じて、何を学びたいか考えさせることで、学生のモチベーションが向上
	III-2 インターンシップの実施	学生と企業が適切なコミュニケーションを取れているのか	日誌の導入	コミュニケーションツールや第三者の内容把握に活用
		東京圏から来た学生に、地方の魅力を感じて欲しい	地方の暮らし体験を提案・実施	休日を活用することで、地方の魅力を学生に発信

① 「実践編」に観点0「目的・役割分担の決定」の追記

「3. 実践編」において、インターンシップを推進する主体の関係者が地方創生インターンシップに取り組む際に想定される課題と工夫を例示。「企業や担当者によって“インターンシップ”のイメージが様々であり、地域内でイメージが共有できていない」、「目的が曖昧であるため、企業の協力を得ることが難しい」、「人手不足で取り組むことができない」という御意見を踏まえ、新たに観点0として「目的・役割分担の決定」を追記。

② 実践編のフロー（0～Ⅳ）に沿ったモデル事例の追記

「3. 実践編」の最後に、「2. 導入編」で提示した地方創生インターンシップの意義に照らしてモデルとなる特徴的な3事例を追記。

具体的には、実践編で提示した4つのフローである「0. 目的・役割分担の決定」「Ⅰ. 受入先の開拓」「Ⅱ. プログラム設計」「Ⅲ. プログラム運営」「Ⅳ. 継続的な事業運営のための体制」という流れに沿って、3つのモデル事例（鳥取県、辰野町、富山県）の工夫を紹介。

③ 実際に活用可能なツールの紹介

読者が企業や学生に対してインターンシップを紹介する際に活用できるPR資料（リーフレット）の紹介を追記。

いずれも地方創生インターンシップポータルサイトよりダウンロードいただけます。
<https://www.chisou.go.jp/sousei/internship/index.html>

企業向けリーフレット

学生向けリーフレット

是非、『地方創生インターンシップ推進に向けた取組のヒント集（第2版）【本編】』をご活用下さい。

～ <https://www.chisou.go.jp/sousei/internship/index.html> ～

